

「標茶町行財政改革推進計画」町民説明会
－ 議事録 －

1. 日 時 令和8年5月26日（火）午後7時00分から午後8時50分まで
2. 場 所 しべちや農楽校
3. 出席者 【参加人数】 15 人
【町役場】 町 長 佐藤 吉彦
副町長 牛崎 康人
教育長 青木 悟
企画財政課長 齊藤 正行
行財政改革推進室長 内藤 政夫
4. 会議内容
 - (1) 開会
 - (2) 開会あいさつ
 - (3) 説明
 - (4) 質疑応答
 - (5) 閉会あいさつ
 - (6) 閉会
5. 会議経過
 - (1) 開会 午後7時00分
 - (2) 開会あいさつ
次のとおり町長よりあいさつを述べた。

本日は、「標茶町行財政改革推進計画町民説明会」に、ご参加いただき、誠にありがとうございます。

現在、標茶町では、人口流出や少子高齢化による過疎化の進行、それに伴う人手不足、公共施設の老朽化など、さまざまな課題を抱えております。これらの課題は収入の減少や維持経費の増加につながりますが、加えて、近年の物価高騰などもあり、町の財政を取り巻く状況は年々厳しさを増しております。

こうした中、このまま、これまでと同じ形で事務事業や財政運営を続けていくことは、将来にわたって持続可能なまちづくりを進めていく上で大変大きな問題であることから、令和7年6月16日に「標茶町行財政改革推進計画」を策定いたしました。

この計画を策定し実行していくことは、現在の町の状況や課題を町民の皆さまと共有しながら、厳しい状況を乗り越え、これからの標茶町をより良い方向へ進めていくための取り組みであります。

そして、行財政改革は、行政だけで進めるのではなく、町民の皆さまとともに考えながら進めていくことが大切であると考えております。

計画策定から2年目となる今年は、より具体的な取り組みについて、皆さまと意見を交わしながら、将来に向けた基盤づくりをしっかりと進めてまいりたいと考えております。

行財政改革という言葉を聞くと、「削減」や「見直し」といったイメージから、不安を感じられる方もいらっしゃるかもしれません。しかし、それは単に何かを減らしたり、なくしたりすることが目的ではありません。限られた財源の中で、本当に必要なサービスを将来にわたって維持し、次の世代につないでいくための取り組みであります。

そして、見直しによって生まれた財源を活かしながら、ふるさと標茶がこれからも「元気なまち」であり続けられるよう、将来への投資にもつなげていきたいと考えております。

本日は、なぜ今このような取り組みが必要なのか、また、標茶町の現状や今後の方向性について、できるだけ分かりやすくご説明し、皆さまから率直なご意見やご提案をいただきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

（3）説明

「標茶町行財政改革推進計画」の概要について町長より説明。

（4）質疑応答

次のとおり参加者の質疑に対し回答を行った。

【プライバシー保護及び個人情報保護の観点から、個人名や固有名称は表現を変更しています。また、録音品質により聞き取りづらい部分などは最低限の補筆を施しています】

参加者①:

ありがとうございます。

参加者①です。

全体的に仕方ないかもしれないですけど、とりあえず一つにぼん・ぼんゆななんですけども、今いくらか利益が出てるとか、利益を求めないのかもしれないけど、それとも何かしら。これ議会だよりをよく見てないせいなのかもしれないけども、そういったところの町の収益という部分を確認したい。

副町長:

はい。

えっと、令和6年の9月30日にグランドオープンして、令和7年度1年間通して初めて決算の状況が出てきてるんですけども、令和7年度は町から指定管理料3,200万円を入れて、それで全体で640万ほどの赤字という結果になってます。

※1

えっと、指定管理者を募集した時の計画でも、最初の1年は赤字ということが出てきているんですけども、今おっしゃったようなお尋ねの収益というところなんですけど、あの、今の指定管理者とは5年間の契約で、毎年指定管理料を支払いするということになっていて、3年目からですね、黒字化した時には、黒字化のうちの20パーセントを町に納付するっていう契約にはなっているんですけど、指定管理料を全部返すっていう契約ではないので、直接的にあそこから町にお金が入ってくるってことは形としてはないんです。

ただ、従業員の雇用であるとか、あるいは食材の調達であるとか、それからよそからお客さんが入ってきて、何らかの経済的な効果が見込まれるというところを期待しての運用をしてもらってるという状況です。

参加者①:

あの、この宿泊施設っていうのは共立さんが運営全体をどういうふうに仕切っているのかな。

先日クラス会でお願いしてみたら、最初いい返事をもらったんですけども、夜その宴会の部屋を貸してほしいなって言ったら、そういう所じゃないです、って。基準っていうものがあるんですね。

※1 税抜金額での回答である。令和7年度は1億8,115万円（税込）の売上げに対し、経費は1億7,100万円（税込）で、740万円（税込）の赤字。このマイナス分は運営会社側で負担してもらうこととなる。また、収益が出た場合は、利益の20%を町に還元してもらう仕組みとなっている。5年契約のうち1年目は指定管理料3,800万円を支払っており、以降の指定管理料については年3,200万円を支払っている。詳細について、別添資料としてホームページに掲載。

なんかその、やはり騒いじゃいけないっていうか、しんみりしたっていう、そういうイメージを持ったぽん・ぽんゆなんです。

それはその町民にもオープンということでね、開いたのを持っていますけども、それはいいと思うんです。

なんかちょっと納得いなくて、まあ確かにやればダメなんです。

あとそれは別にいいんですけど、運営の仕方っていうのが、格式を持ったやり方をする。

金をかけたわりにはなんかちょっと使いにくいなっていうか、お金持ちじゃないと使えないっていうイメージがどうも拭えない。

それらを悪い客とかそういうふうには考えないとか、手をすべて離してしまうとか、赤字の原因を根本的になくしていかなきゃいけないのに、それはせっかくの施設をなくしてしまうのもね。

弟子屈町とか見てると、最終的にどうにもならなくて施設を廃止みたいな。

で、運営を任せてしまうという形を取るのであれば、見切りをつける。

そういうお金をこうかけていくのを変えることも一つかなという個人的な考えでちょっと言わせていただきました。

町長：

最初にね、この利用の形態で、ちょっと僕もね、そこまで細かくはわかんないんですけども、例えば宴会であれば二階のレストランのところで。

参加者①：

それも9時までですよ。9時まで。

その後で客が集まったらそれもダメみたいな感じですよ。

それはちょっと無理じゃない。

町長：

宿泊されていてですか。

参加者①：

はい、宿泊されてて。

町長：

ちょっと宿泊されてて、通常の宴会以降のことについてまでちょっと把握してなかったんで。

参加者①：

それがなぜか、そういうことになってるのかわからないから、って、それは無理なことに。上の人と話してみますって言われて、持ち帰ったんです。

そういうのは必要ないかなと思うんで。

町長：

はい、わかりました。

ちょっと支配人にちょっとこの辺お話してみますので、支配人っていうかね、もともと共立さんの運営の考え方もありますので、一応運営は基本的には委託してるんで、その中で町の要望とかは伝えて、お互いにやりとりしながらって形で今は運営してますので、研究してみます。

あと、その売却とかっていう部分ではですね、今とりあえずあの指定管理で年間お願いをしてるっていう状況の中では、最初の 1 年間の収支の状況も今出てきたばかりでありますので、これからですね、どんな状況になるのか、運営上の中では、夏はですね、本当に 8 割から 9 割の宿泊の予約が入ってるっていう状況で、逆に言うとなかなか宿泊の予約が取れないっていうような、お客さんから僕の苦情が逆に来たりとかっていう状況の中で、ただやっぱり冬場とか、そういう時期にはなかなか厳しくなって、今までもそうでありましたので、そうなのかなということで、町民向けですね、1 月から 3 月に格安料金でセットしていただいて、そういう時期にですね、多くの町民の皆さんに利用していただくとか、そんなこともですね、いろいろ研究されてやりますので、引き続きですね、運営については多くの皆さんがそういう時期には利用しやすいとか、私は今でもですね、町民の皆さんであれば宿泊を 3,000 円安くするってことに話としてなってますので、ぜひ、ご利用されたんでわかってらっしゃると思うんですけども、そういったこともですね、やりながら、あるいはその入浴サービスの日とかですね、シラルトロの日とか、塘路の日とか、そういう設定で入浴のサービスの町民向けのサービスの日を設定したりとかですね、様々なことを研究されてますので、もし何か具体的な中でこんなこともやったらいいよってことがあればですね、伝えますので、もし提案とかアイデアありましたらまた今日でなくても結構ですのでご意見いただければと思います。

参加者②：

はい。

あの、参加者②ですけど。

あの、まあ人口減少するのわかってはいたんだけど、こんなにも残高減ってるのもようわからなくてさ。

これあの国からの交付税だ。

で、なんか令和 8 年度で 10 億円ほど減ったんだけど、最高あった時何億ぐらいだったかな。

国から。

4 億減ったってことは。

町長：

59 億から 66 億ちょっと切るくらい。一番は人口で換算されますので、国勢調査で人口がそれが一番の減少の原因です。

参加者②:

ただ、あれだな、それを見計らって、削減していかないと大変なのは、それはもともとご存知なはずだったと思っております。

町長:

はい。

もちろん言われたように人口が減っても、例えば先ほども説明しましたがけども、公共施設の数とか、そういったものの数っていうのは減ってないですの
で、それを一定程度、例えば冬の除雪も含めて体制を維持したりとか、そういったものに減らすお金はなかなか減らないっていうのが実は現状なんですね。

標茶町面積広いので、各地区に公民館があったりとか、こういう学校の新規就農の支援施設があったりとかですね、そういうのを維持しながらっていう状況でありますので、そこがなかなかしつかり、今後人口が1万7,000人規模もあった人口が6,000人、さらにもっと少なくなる時に、じゃあどういう形のまちづくりにするとか、学校がどうだとか、いろんなことをですね、しっかり考えていかないと、出ていく金だけは多くて、でも入ってくるお金が少ない、なかなかそこを簡単に減らせられないっていうのが実は現状で、今来てしまったってことなんです。

参加者②:

はい、わかりました。

人口減少するにあたってさ、だからいろんな策を練って、やっぱり知恵を使っているんなものを減らしたりなんか、それをできなかったのかなとも思うんだけど。

だから今なんかこういういろいろまた何億円かけて作るとかっていう話、人口減ってるのにさ。

それは無駄な金だと思うし。

で、今あの、あのなんだ、亡くなる方が多くてね、生まれてくる方なんて大体月に一人とか二人ぐらいで、それは増えるわけないんで、もし人口を増やすためだったら。

やっぱりあの、今インターネットいろいろさ、YouTube あるんで、移住する人をさ、こう、要望するとかさ、まあ、来ても仕事なかったら困るけどさ、仕事を作るのが大事じゃないかと思って。

まあ、やるかどうかは知らないけど、仕事増やしてね。

で、大きい企業もないし、あの、標茶の町あってもさ、シャッター街ばかりでさ、なんの雇用もできない問題で。

それともう一つは、あの、人口が多い時の役場職員さん、まあ、いろいろ悪いけど、だけど全然減ってないっていうのがさ、それはやっぱりなんらかの、やっぱり知恵を使ってさ、退職したら、あそこの部下は入れないとかさ、いろいろ、これあると思うんだよ。

俺も議員さんにもいろいろ言うんだけど、やっぱりそういうのも、だして言わないとね、やっぱり財政が良くならないよって言ってるんだけど、俺は、僕

一人だけの、まあ、町民に対してとかっていうんだから。

だから、後ろに町議さんも何名か来てるけど、やっぱりちゃんとしたさ、賛成反対ではなくて、これをやっていくんだから、しっかりとさ、輪になって、時間かけてもいいから議論していいものに仕上げていけばいいもんさ。

それもしないで、あ、ダメダメダメって、これじゃあ、なんも前に進まないよ。

だからそういう部分を、誰がこうでないと、やっぱりみんなが力を合わせてこの町を良くしようという、そういう気持ちがあればさ、これはもっともっと発展すると思うよ。

もう一個言っていていいかい。あの、町営バスなんだけど、あの、去年も役場書いてもらったんだけど、今、子供たちが人数少ないのに、あの無駄なさ、でかいバスなんていないんだよ。

今の小さいの、小学生なんか乗るバス9人乗りのさ、あのくらいのものにして。

で、なんていうんだ、その連動する、今燃料高いんだからさ。

だって、その地域によってさ、木曜日なんか走ってるの見たけど、あれだってさ、電話でね、「今日行きますから」って、そこに行けばいいし。

だからほら、来なくていいんだもん。

無駄な投資してさ。

それでも無駄なんだっていうのが俺は、俺はずうっと見てきてるけど、だからそれでもっと改革してほしいなと、思ってます。だから、多分いいっていうけど、以上。

町長：

はい、いろいろありがとうございます。

今、あのバスについては、いろんな路線見直しを積極的にやるってことで、今調査もしてますし、今まで大型バス走ってたのを小型に切り替えたりですね、スクールバスも同じようなことで、ある程度大きいのを小さいのに変えたりとかですね、場合によっては、ワンボックスカーみたいなのを走らせたり、もっと少ない時には、タクシーをお願いしたりとかですね、いろんなことを研究してやってますので。

ただ、なかなかその、一気に既存のバスの有効活用しながらっていうのもあるので、その辺財産をうまく活用しながらってことで、まあ苦労しながら今やってますので、ご理解いただきたいと思いますんですけども。

あと、まあできれば、できれば私もですね、人口など極端に減らさないことを、まあ、増やす、増やすのは非常に難しいですから、人口を減らさないことでなんとかしたいっていうことで、いろんな子育て支援の政策とか、しっかり子供を産んでいただきたいってことで、保育料を無料にしたりですね、あの、給食費も無料にしたり、医療費も大学生まで無料にしたりしながら、標茶町の子育て支援をしっかりやりながら、標茶で安心してお子さんを産んでいただきたいということでずっとやってきてますが、なかなかそれも、今の少子化の流れの中ではなかなかそういったことだけではなかなか厳しいのかなっていう状

況に実はあります。

あと移住政策もですね、特に塘路中心にですね、やはり観光地、あるいはアウトドアの拠点になりますので、そういったところにそういう環境にこだわって来ていただくために挑戦してもらっているということも、今塘路地区で、優先的に始めてですね、それを町内全域にですね、拡大していこうと進めています。

あと職員数の部分ではですね、やはりいろんな施設がたくさんあるので、例えば他の町と比較して、まあ職員数多いのはもちろん、さっき言った通りなんですね。

例えば学校のある地区に公民館あって、保育所があつてっていうのが標茶の形です。

それに例えば、町立病院が、特別養護老人ホームがあつて、育成牧場があつて、他の町ではなかなか独自に持っていないものを標茶町は持っている。

あの、人件費が大きくなってっていうことは、今、しっかり対応していこうということで今話してますので。

副町長：

えっと、いろいろな理由があつたんですけども、令和7年度末で、事務職とか、看護師とか、保健師とか、去年で10人ぐらい退職してるんですよ。

あの参加者②さんおっしゃるように、ちょっと職員人件費がですね、ちょっとずっと上がり続ける、まあ人の数も落とせないし、それから人件費の高騰で人事院勧告が、去年とか、あの結構な率で上がって、上げ幅のある人事院勧告が出たりして、人件費が膨張したっていうこともあつてですね、簡単にこれ以上は増やせないなというところで、結局保健師1名だけ採用できたんですけども、他についてはしないままですね、新しい令和8年度の体制を組んだところなんです。

まあ確かにあまり人が減っていないですね。

あの、令和2年度270人っていう数字、職員の、あの270っていう数字があつてですね、令和7では281人になってるんですね。

横ばいなんですけど、人口が減っていても。

仕事量は人口が減ってもそんなに減らない感じなんですね。

パソコンとか通信が発達して、末端に全部来てるような感覚も持ってます。

昔は北海道庁が印刷した書類を、資料を全部送ってくれたりしたんですけども、それが今パソコンでメールできて、全部自分たちで作ったりしなきゃいけないとか、あるいはそういったものを元にして、北海道庁が説明してくれたんだけど、あの自分たちでパソコン見ながら勉強しないといけないから、ちょっと説明会が少なくなったなという気がするしてるんですけども。

その中でですね、まあ人が減ってきたのを横ばいだ、あるいは今年極端に減ってるっていうところと、あそこ10年ぐらいの間ですかね、ちょっと病んでしまう職員も出てき始めてっていうか、標茶だけじゃないんですけども、町村役場の職員結構メンタルの不調で長期の休みに入ったりしている人もいたりしてですね、実労働人数が見かけ上は横ばいでも落ち込んでるっていうところで、組織を健全に保つためには、ちょっといっぺんにドーンと減らすわけに

はいかないなっていうところですね、退職者の不補充という形でなんとか人数を調整していこうっていうことで、それを打ち出して職員にも伝えてですね、今まで1人、例えば10の仕事をしてたとすると、もしかすると11の仕事をお願いするかもしれない。

ま、ただ、やみくもに仕事が一人の負担が増えてしまうと、やっぱり病気のことにも心配だから、今までやってた仕事そのままやるのが正しいのかとか、違う方法がないのかとか、効率化は図れないのかということも一緒に考えながらやってほしいというお願いをしてるってところですよ。

参加者②:

ちょっといいかい。臨時職員て何人。

副町長:

えっと、ざっくりなんですけども、正職員240人に対して臨時職員、まあ会計年度任用職員200数十人います。

参加者②:

うん。

副町長:

えっと、役場の事務職、それから保育園、保育士、保育職、それから病院のとか、やすらぎ園とか、育成牧場とか、そういう職種ですね。

スタッフのほとんどを占めています。

参加者②:

あの、公民館というのは6つあるの。

これ全部館長いるんでしょ。館長に職員が、塘路とか、阿歴内とか、茶安別とか。館長1人だけじゃないでしょ。

副町長:

館長1人に会計年度任用職員1人になってます。

参加者②:

うん、館長っていう名前ついてるんだから、給料高いよね。

館長だから。

副町長:

役場でいうところの課長補佐職で今、はい、充ててます。

参加者②:

ああ、課長補佐。

副町長：

もう一人の職員は会計年度任用職員です。

参加者②：

標茶の開発センター、公民館だよね。

あれ、なくすわけにはいかないの。

参加者⑦：

中央はうちの地域でしょ。

他の地域で職員なくのすは、その地域が認めればね。

副町長：

あの、正直なところ考えたことがないわけではないんですが、あの参加者⑦さんがおっしゃったようにですね、各地域の方からは反対されるだろうなというところがあったりとか、まあ開発センターの中央公民館についても、あの、お話にあった通りですね、まあ標茶周辺だけではなくて、この御久沼地区もカバーしながらと。

参加者②：

まあこっちっていうのは、わかってる。

あの、中央から見たらもちろんそうだけど。

それ、たださ、阿歴内なんかもさ、どっか茶安別と一つにして、それをやればいいんじゃないの。

副町長：

それは方策として、ありだと思います。

参加者②：

今までこうなったら、このままずっと行こうでないべさ。

やっぱ大変な時は大変なりに、俺はそういうのが大事だと思う。

俺は経営が大変なときはさ、これを削って、で、したらこれでなんとか頑張ろうとかさ、機械あるけど使わないでこの次使おうと。

そうやって乗り切って今まで来たんだけど、だからみんな何でもそうなるだろうな。

農協だって今大変なんだけど、こんな状態だけど、やっぱりみんなそうやって知恵を使って動かないと。農協だって搾乳農家減っちゃってね。これが大変なことになるわけですから。町だってね、農家が減れば大変だよな。

そこ同じだから、そこを考えてやってもらいたいなと思いますけど。

町長：

貴重な意見としてですね、過去にもですね、公民館の、例えば館長さんを地域の人に委託できないかとかですね、そういった形で人件費を削減するという

わけじゃないんですけど、正規の職員には地域の中で、例えばそういうのに長けた人とか、公民館活動を積極的にした、今までの、例えば学校の先生を引退して地域に住んでる方とか、いろんな方いらっしゃいますので、そういう方に協力してもらえないとか、いろんな案も実はあったんですけど、なかなかやはり理解がされないこともあってですね、できてなかったのは事実です。

ただ、ここに来て、ああ、そういうことじゃなくて、そこまでやはり踏み込んだ形の議論も必要なんじゃないかってことでありますので、貴重な意見として持ち帰ってですね、ただ、そこをどうするのかっていうのも皆さんとまた議論しなきゃいけないことですので、そこも一つ今日のテーマとして、公民館のあり方も含めてですね、地域ではどういう形がいいのかとかですね、公民館、大体地域には例えば公民館もあったり、郵便局もあったり、色々あるんですね。

そういう部分を、例えばもしかすると総合的にお互いに、例えば共通してそういう事務ができないとかですね、今例えばいろんな窓口事務もインターネットの方で、例えば住民票とかもですね、マイナンバーカードを持っていればほとんどコンビニで取れるとかっていう風になって、窓口自体もだいぶ変化してきてるんですね。

お金の出し入れもそうです。

前は公民館で税金とかいろんなね、収納をしていただいたので、そこにはしっかりしたお金の管理する責任者が必要だっていう議論ももちろんあったんだと思いますけど、今そういうふうになんか変化してきてるのかなと思いますので、そんなことも含めてですね、皆さんから意見を聞ければそんなふうに思ってます。ありがとうございます。

参加者②:

はい、よろしく。

参加者③:

釧網線なんですけども、上下線とか、今日お聞きしていいものじゃないかしれませんが、町としてどのような考えがあるか教えてもらえますか。

町長:

JR のことでいいですか。

参加者③:

はい。

町長:

JR については、もう唐突に国から JR 上下分離って形で自治体に負担してほしいって形で出されたことに関しては、基本的にその黄色線区って今道内 8 箇所、例えば釧網線とか花咲線とか全部の線路じゃないんですね。

その部分だけ上下分離って形で出されて、そこを中心に議論するってこと自

体がまずおかしいだろうと思ってますんで、まずは北海道の鉄道をどういう形の鉄道が必要で、だからこの路線を残すんだとか、ここは観光路線で行くんだとか、そういう根本的な議論がまず一切されてないうちに、上下分離の中で黄色線区の釧網線だけこうやってくださいって言っても全然話にならないだろうなと思ってますね。

それで本来は北海道が中心となって北海道の鉄道をどうするんだと、そういう議論があって初めて、じゃあどういう形で負担して、その路線をどういうふうに残していくのかっていうことをしっかり議論した上で、それで話をしながら、基本的に、例えば JR 北海道、国の会社なんですね。

民営化と言いながら、この前、最近新聞で皆さん分かったと思うんですけど、社長さん今ちょうど更新時期で社長の閣議決定で決まるって皆さん新聞で見たと思うんですけども、いまだに 100%国が株式持ってます。

ですから、そういうことを提案すること自体が私はまずおかしいと思ってですね、まず国と北海道がしっかりとその方向性を出しながら、そこにそれも町村の意向、沿線自治体の意向を聞きながら、しっかり方向性を見定めた上でどうするかということを経験していただきたいなということだと思いますので。

参加者③:

そのしたら町としてはその廃線は、廃止したいっていう考えなんですか。

町長:

あの基本的には釧網線については貴重な線路だと思ってますし、観光の釧網線は特に夏はノロッコ号、冬は SL 冬の湿原号を中心にですね、多くの皆さんに利用されていて、それに応じて、例えば釧路標茶の SL の時はですね、非常に今年の冬だけで約 1 万 3,000 人の方が利用されています。

夏のノロッコ号は年間で 6 万人を超えています。

その方が利用されて、まあノロッコ号はやっぱ塘路に、釧路と塘路の間ですので、塘路の観光振興のすごい役割も実は担ってますし、ノロッコ号で来て、カヌーに乗ったりとかですね、そういった方ももちろんいらっしゃいますので、非常に標茶町にとってはあの観光路線として釧網線は非常に価値のある、もちろん通学通勤されてる方は利用されていますので、そういった部分も必要ですしということで理解してます。

参加者③:

もう町としてはなんていうか、この維持するために、なんていうか、金銭を出す、お金出すっていう、そういうふうにも考えているんでしょうか。

町長:

あの、お金の話は一切してません。

まあ JR からいくら出して、といった話は今回は出てませんので、その前に JR さんがまあ今回はちょっと時期尚早だったということで、また別の形で議論するっていう形になりましたので。

ただ、その負担についてもですね、しっかり議論して、本当にどこが負担すべきなのかも含めてですね、例えば上下分離もいろんな国で実はやってるんですけども、私が個人的な考えで思ってるのは、鉄道はしっかり国が、あの国道と同じだと思います。

道路と同じなんですね。

道路と同じように必要な道路、必要な鉄道をしっかり国がそこを維持管理して、それをしっかり民間事業者が鉄道として利用したり、皆さんもあの、国道走ってますよね。

それと同じようなものじゃないかなと思ってますので。

ただ、今あの少子化とかね、人手不足の中でいろんな物流含めてですね、北海道の様々な農産物の輸送とか、あるいは移動とか、そういったものもですね、はい、トラックが非常に足りないということになってくる時に、鉄道の価値っていうのはすごいあるんだろうなということだと思ってますので、そういったこともしっかり切り口としてやっていかなきゃならないというそんなふうにしてます。

参加者③:

わかりました。ありがとうございます。

参加者④:

削減ってこう言われてるんですけど、ちょっと、町の車両のタイヤ、あるタイヤ屋さんに行ったらなんか大手タイヤメーカーのタイヤでないと履けない。指名してるみたいな感じがあるんですけど、大手タイヤメーカーとやっぱ他のメーカーのでかなり価格帯が違うので、ましてあのホイールローダーだったり、タイヤショベルだともう2、3万円とものすごく差があるので、それは町としてなんかそういうふうになってるのか、他のメーカーではうまくないのか。

町の車両全部それにしても相当な金額になると思うけど。

タイヤ交換の時に、したら大手タイヤメーカーの価格が上って。指定してるんですか。タイヤ屋さん。

前はある業者では大手タイヤメーカーは扱えないからできないって言われて。

副町長:

あの、以前なんですけど、あの重機をある程度町で持っていた時に、重機類は運転手さんにね、あの大手タイヤメーカーの方がいいとかって言って、そういうことで買った時期があった記憶があるんですけども、今は大手タイヤメーカーなきゃダメだっていう、そういう指定での入札発注はしてないんじゃないかと思うんです。

ちょっと正確な実際、今ちょっと手元に資料がありません。はい。

まあ一つは安いっていうことがまず最優先なんでしょうけれども、あとはその持ちの部分とかももしかすると考慮して、あの、そういう発注の仕方として

るかもしれないです。

ちょっとなんともお答えできないので、まあそれについては、あのタイヤ購入についても合理化っていうところでお話があったっていうところと、それに対する回答ということでちょっと状況の整理をつけたいと思います。

※2

参加者④:

私ももう50何年運転してるけど。

大手タイヤメーカーのタイヤは履いたことないんだけど。

今はそんなに差はないと思うんだよね。性能的な。

そこはちょっといけないと。

何とかならないか。それだけ。まあできますよ。

そういうところもちょうと見直した方が。

あとまたあの町のいろんな団体がある。

これはね、なんか似たような団体もある。

これなんか補助とか、まあ助成金出しているところもあるので、それも統合してもっと数減らしてもいいんじゃないかなっていう感じもするので、結構なんかいっぱい団体があるんですよ。

副町長:

似たような団体統合っていう、ちょっとあの私自身はパツと思いつかないんですけども、今年度はですね、予算を作り上げる上で言うと、きつかったものですから、基本的に一律20パーセント、団体の運営費補助とか活動補助について、20パーセントカットをお願いをしてきたっていう経過があります。

補助金全般については、この資料にもあったと思うんですけども、基準見直しをして、現状に合ったというか、説明ができる、その公平性、平等性っていうものを考えながら見直しをしていくっていう方針を持っていますので、これはそれをこれから来年度の予算にかけて対応していきたいと思っています。

参加者④:

あと町有財産。

久著呂の学校もあるんだけど、その活用法ってなんか活用する方法とか、なんか施設とか利用するような。

どっから他の団体からこういう利用したいというのはないですか。

※2 町有車両のタイヤの発注状況について車両を所有している部署全て調査を行い、メーカーの指定はせず町内業者各社で取り扱っているタイヤメーカーを納入している。数年前、仕様書で国産と指定していた経過はあったが、今はサイズのみの指定で、国産以外も可としている。

企画財政課長:

あの、実際、久著呂の学校については、以前には介護関係の団体とか民間の

会社からの問い合わせ、それから去年は関東の大手の塾ですね。

で、サマースクールっていうんですかね、で、活用したいんだけど、どうでしょうかっていうのが問い合わせと資料の請求がありました。

あの、国のほうの文部科学省っていうところの廃校のサイトっていうか、そういう一覧に掲示しているところに、標茶町の弥栄と久著呂と阿歴内、三つの廃校の情報を載せています。

そこを見た会社の方からそういった問い合わせがあって、その後何も音信不通で無いんですけども、そういった問い合わせはあります。

ただ、やはり貸すとなるとですね、まだ新しいっていうか、結構賃料をまともに計算するととんでもない金額になっちゃいますので、その辺をしっかりとるのか。

極端なこと言うと、やはり人が使っていないと傷みが早いので、例えば隣の村ですと、廃校跡にビール工場があそこは確か十年間無償で賃貸で、売ると、翌年その会社の固定資産税が発生するっていうこともあったと思うんですけども、やはりそれを無償でも使っていただく方がよっぽどいいという選択もあったかもしれませんが、そうやって有効活用していただけるっていうのが一番いいかと思ってるので、あの、私ども廃校、久著呂の方も、おられますけど、私ども自ら去年も草刈りに行って、できるだけ現状の体制ですね、草ボーボーだと人がきてもカッコ悪いんで、環境整備も努めてなんとか入っていただくことも努めておりますし、もっと積極的に今こういうこと言ってますけども、積極的にですね、使っていただくことをですね、宣伝して、他にもですね、教員住宅ですとか、そういったことも売れる財産は売っていこうと思ってるので、実際に塘路で去年と今年2棟売り出しまして、金額は安いんですけども、2棟とも売れました。

ですので、全部が全部売れるっていうのはなかなかですね、分筆ができない土地あったりするのもあるんですけども、売れる部分については処分していきたいなど。

将来やっぱり利用する考えがあるのであればね、残しますけど、もう利用が見込みがない財産については積極的に売って使っていただいた方がよっぽど施設もいいですし、そういったことも踏まえて、今その洗い出し含めてどういった形で売なのか、よく今インターネットで売ったりですね。

売れそうもない古い車もインターネットで売れるとかですね、いろんな他の自治体取り組みやってますので、それ参考にしながら進めていきたいというふうに考えております。

参加者②:

今、あの、塘路って閉校。休校。

参加者①:

休校だったね。休校でもそういうのって売れるの。

基本売れないか、教員住宅ってあるよね。

企画財政課長：

塘路についてはですね、教員住宅で、今学校の横にすぐ横にある教員住宅2棟あるんですけど、そこには人が他の学校の先生だと思うんですけど住んでます。

その山側っていうか、上にあった、近くにあった古い教員住宅については全て、専門用語かもしれないですけど、用途廃止っていうので教員住宅としてはもう使えませんよ、ですので、町の方に引き取ってくださいっていう手続きがあつてですね、それで一般の方入れる方いませんか、っていうことで、地元のぽん・ぽんゆの従業員の方が2名ぐらい入ったりとか。あとは2棟売れたりですね。

あと本当に古いやつはもうちょっと入れることはできないんですけど、そういったところで有効活用させていただいております。

はい。

参加者⑤：

何点か重複してる部分ですが、

ぽん・ぽんゆですけど、結論からいうと終わる時間がちょっと早すぎる。

他の温泉施設と比較したら8時までの入館だったかな。

確か100円だか200円だか安いのは町民として嬉しいんですけど、建って半年くらいだけど、なんか長靴の入館を断られたっていう。

で、結局町民は、このおじいちゃんおばあちゃん多い中、そんな長靴履いて行くなとも言えないし、それが本当にみんな全員に言ってるもんなのか。

ぽん・ぽんゆは一応高級志向だとは思うんですけどね。

建設もいろんなオリンピックの人に頼んだとかで、そういう目的で、今後続けていくのかなというのがまず一つ。

それと、参加者②さんの話に続いてこの5ページに載ってる役場のあり方、原因なんですけど、今度はリストラも考えて役場の方は進めていくのか。

で、多分辞めた職員で自分の知り合いがいるんですけど。

それと、事業予算の見直し、これが今町でやってる農業機械の7分の3のリースをやっていると思うけど、1回目の話出た後から動いてないんで、それが2回目、3回目と今後やっていくのか、それが6分の3になるのか、5分の3になるのかわかんないんですけど、そういうのを今後やっていけるもんなのか。

それと積極的な財産処分、これをインターネットのみななのか、例えば机・棚・タンスというものは町の方に発信して、オークションにするか、値段決めて欲しい人等でやっていくのか、ハウスとかだったら小さいものとかなら、自分とかも欲しいし。一回その町の方に下ろしてほしいなと思うんですよ。

で、今日の話と全く関係なく、今自分は沼幌の小学校のPTA会長をしております、で、少子高齢化で沼幌の方も今休校・閉校の話も出てて、各地域会長さんと回っているんですけど、ちょっと前に100周年やったばかりで、100周年残りの予算が20万弱しかないんですよ。

で、もしも閉校するにあたって、式典と色んなことをやりたいとは思っているんですけど、そのためにはやっぱり町の方から助成をもらわないとこちらだけ

の力だけだと思うんで、なるべくもし閉校になったとしたら、町からの助成はちょっとお願いしたいという。

今日小学校の方も集まりがあったんで、一応こういうところで議事録もとるし、いろんな人もいるんで、町の方にはお願いした方がいいっていう意見も意見はあって、ちょっとその辺もお願いしたいと思います。

企画財政課長：

さっきの財産の処分関係、インターネットと言いましたが、まだ何も決まってるので、できればこないだ別の会場でもあったんですけど、インターネットで売るのはいいんですけど、やっぱりちょっと今、外国の方がみんな悪いというわけではないんですけど、要するにソーラーパネルを売ったばかりに建てられたら、とか、そういう懸念をお持ちの方もいらしゃいます。実際。

だからあのやみくもに売らないでほしいっていうそういう土地とかもあるんで、あの私どもできればですね、例えば物品、例えばこういう机とか、町の人を買ってくれたら一番ありがたいんです。

はい。

だから今非常に良いっていうか、参考になるご意見いただいたんですけど、例えばこういうものがまず町の方からどうですかっていうのをまずやっというから、ちょっと長い期間売れなかったらじゃあ次、とか、そういうステップが良いのかなって。

まだ構想段階で具体的にどういう風にまだ決まってないです。

ちょっとこれからあのどういうもの売れるんだろうっていうのも、あのまだ具体的にないですから、ちょっと今のご意見非常に参考になりましたので、あのそういった形で進められるように私どもの制度設計させてもらって、じゃあインターネットで全国にどうですかっていうのはやりたいなって、今のご意見聞いて改めて思いましたので、参考にさせていただければと思います。

本当にありがとうございます。

町長：

先ほどまず、ぽん・ぽんゆの方の長ぐつの件は実はちょっと今日初めて聞いたので、支配人に確認してみます。

ただ、お風呂の時間はあの最初少し短かったんですけども、長くしてもらって9時になってます。

教育長：

ご質問ありがとうございます。

沼幌小学校の閉校の話につきましては、秋山校長からちょっとこの辺の話を受けておまして、今回、特にPTAの方には地域振興会の方にも出て説明をしていただいたということも伺っております。

大変その努力に敬意を表して感謝しております。

ありがとうございます。

今のあの閉校、もし閉校だったとして仮定して、その式典なり、あの私もさ

せていただきましたが100周年やったばかりですので、予算がそこである程度使われたと存じあげてますし、それに関するお話も伺っていますので、ただあの今後、仮にですね、閉校という判断をされたとして、特別にやっぱりまたちょっとまた話していただくこともありますので、その際には私また伺わせていただきます。

改めてあのその式典の中身ですね、100周年と大きいものをしていて、立派な記念誌も作っていらっしゃるの、じゃあその閉校に関する、例えば記念誌はどうしようとか、あるいは式典はどうするか。とか。

飲食に関わってはなかなか補助金は難しいんですけども、そういった形で規模であるとか、そういったものが具体的になった上で、また相談をさせていただいて、相談していく中で対応していければいいなと。

特に今即答で、あの何でも払いますとかとは言えないんですけど、それはもうやっぱりまあPTAにお願いとして、ぜひまたご協力という形でやっていくという事務的にもさせていただければと思いますけど、改めてこれまでのそういった話に対して感謝を申し上げたいと思います。

今後この辺の取り組みにも取り入れていきたいと思いますので、今後とも教育委員会も寄り添ってまいりますのでどうぞよろしくお願いします。

副町長：

職員のお話だったんですけども、えっと正職員は定年まで雇うのが基本なんですね。

で、その職場がなくなったからといって、辞めさせるっていうのは法律上はありなんですけれども、それについて今は考えてません。

で、あと正職員の他にさっきの話があった会計年度任用職員という区分の方がいらっしゃいます。

この方々は毎年募集をして、そして対応するっていう形になっていて、それは正職員が不足をして業務ができない部分に対応してもらうということで雇用するということになっていて、実際業務の内容、業務見直しをして時間を短く、令和8年度からフルタイムではなくてパートタイムで続くというようなこともしてますし、この先はもしかすると何かの工夫でですね、会計年度任用職員を雇わずに正職員だけで賄いきれるってことになったら、そこは募集をしないってことはそれは考えられるというふうに思っています。

今具体的にあそこをなくそうということまではないんですけども、この先、書いてある通り、組織全体の見直しはしないといけないと思っていますので、それはこれからしていくことはあると思っています。

農業機械のリース、町単独で事業を持ってるってちょっと記憶がなくてですね、国の事業の中に間接補助っていうんですけど、国・北海道からの補助金を中携してお渡しするっていうのがあって、それじゃないのかなというふうに思っているんですけど、だとすると、町がそこに乗っけるっていうことが、乗っけるのであれば、町としてちょっと予算が厳しいからねとかっていうやりとりがあると思うんですけども、ツーツーであれば我々町が口出しをする部分ではないと思うので、そこは国の予算次第、国がどういう予算なのかなと思って。ちょっともしかすると話が食い違ってるかもしれないので、戻って確かめ

させてもらいたいと思います。

参加者⑥:

私は病院で働いてるんですけども、未収金ありというのが何人かの患者さんのカルテにあって、あの、やっぱり町として、しっかり病院代はいただくように働きかけた方がいいかと思います。

入院費も滞っているというパターンも噂で聞きますので、そこら辺、ちょっと改めてしっかり取り立てじゃないですけど、集金するようなシステムを、しっかりとった方がいいと思いながら日々仕事をしていますので、よろしくお願いします。

企画財政課長:

はい。

あの、私が4年前事務長やりましたので、内容は理解しているつもりでいます。

毎年決算書に未収金っていうので入院費、出てます。

残念ながら長期的な方もいらっしゃいます。ただ、毎年うちの会計事務の医事係という担当の職員はですね、粘り強くというか、分納でもいいのでっていうことで、きちっとその約束を守っていただいて、できるだけ回収に努めております。

長期入院の医療費の未収に限らずですね、他のいろんな税金も含めてですね、その部分についてはやはり納めて、きちんと納めている人が損をしないようにですね、努めていらっしゃる中、ただいろんな事情で納めれないっていう方もいらっしゃるのも事実ですから、ちゃんとその方の事情を聞きながらですね、ちゃんと約束をしていただいて、完納はしていただく。

全て納めていただくのが前提でありますので、その辺はですね、病院代も含めてしっかりと全部の収入については確保するようですね、今職員も含めて体制整備しておりますので、ご理解いただきたいと思います。

ご意見ありがとうございます。

参加者④:

ふるさと納税についてですけど、どんなお返しのものが。

※3 トラクターやその他農業機械のリースや購入の際に活用できる北海道の補助事業「強い農業づくり事業」については、昨年度、4回の要望取りまとめを行っている。現在、当該事業に係る町の規則、運用の見直し作業を行っており、作業が終わり次第、事業要望の取りまとめを予定している。

町長:

ふるさと納税については私、町長になってから実は始めてですね、せっかく

国が推奨するするいい制度なんでしつかりやろうということで、やらせていただいて、返礼品を町内事業者の皆さんがいろんなものを出していただいてるんですが、取り扱いの一番多いっていうか、あの、量的にも多いのが星空の黒牛関係の肉、プラス例えば加工したレトルトカレーとか、そういったのが一番数的には多いのかな。

あと珍しいところでは、例えば羊の肉の商品とか、そういったものもありますし。

あと最近は頑張ってぽん・ぽんゆも一応返礼品の中に入れさせていただいております。

できるだけ数が一定程度ないと、目立たないんですが、常にそういった形でやっていただきまして、あとリピーターとして結構数が、時期によっては出るのは、実はしべちや牛乳の定期販売みたいな形で六本パック入ったやつが、例えば月に何回か届くとか、定期便みたいなのは非常に、しべちや牛乳を気に入っていただいた方にはこのコースをやったりとかしてますね。

そういった形でできるだけ返礼品の数増やししながら、あの、標茶町の財政にプラスになるように頑張っていきたいと思います。

よろしくお願いします。

あと、そのふるさと納税で今実はいろんなところでこうお話ししてるのは、これまででは行政中心に、事業者と皆さんとふるさと納税やってるんですけども、あの町だけじゃなくて、町民の皆さんもですね、皆さんやると町の税金減っちゃうから、減ってしまうんでちょっとダメなんですけども、できれば皆さんの友人知人で町外に住んでる方にですね、標茶町のふるさと納税をですね、もし勧められる方がいたらですね、勧めていただきたいということをですね、あちこちで喋ってますので、その辺もしよかったらよろしくご協力いただければと思います。

よろしくお願いします。

参加者④:

なんかその、仲介業者のパーセント、かなり高いっていうふうに言われたんだけど、町ではどこか利用、なんかいろんなあるんだけど、そういうのを利用して。

副町長:

えっと、標茶町が仲介業者の JTB もやっていて、そこをお願い、委託をします。

そこから、さとふるだったりとか、楽天だったりとか、そういう取りまとめを JTB がしてます。

参加者④:

これが 10 何パーセント、結構なんかパーセントが高いっていうか。

こう、本来からいくと見直されるんじゃないか。

あと町民から、なんていうかな、ふるさと納税してる町民っているの。逆にね。

町長：

あの、残念ながらゼロではないです。

実は、私、ふるさと納税始める前はちょっと多かったと思います。

それは標茶町がふるさと納税まだやってないってということで、まあどちらかというと、じゃあ、よそのふるさと納税やってもいいのかなっていう感覚がちょっとあったのかなっていうのはあります。

それと、よその町をふるさと納税をやるっていうので、ちょっと一時期調べた時があるんですけども、例えば釧路市が意外とよその町のふるさと納税やる割合が多いです。

で、意外と少なかったのが、管内で調べた時に根室市が少なかったんですね。やっぱりその町とか都市によって、そのいかに自分の町を愛してる人が多く住んでるとかそうでないのが、その数字見たら実はなんとなくわかるんだなっていうのは思ってますね、非常にこういうところも勉強になるなと思います。

はい。

ということで、皆さんはしっかりと、標茶町のよその人にやってくださいってことを言ってもらいたいと思います。

ありがとうございます。

参加者⑤：

ふるさと納税で納税品を作るのが目的でいいですか。

地元っていうか、その農家を出てるのが、まあ牛床の寝藁の麦稈を取るのに、小麦のを作ろう、と。

うちら自体はその小麦の残りの藁しか共用しないんですよ。

で、その小麦を納税品として標茶で買ってくれるかわからないですけど。

そういうのはいいんですか。

町長：

あの、全然。要するにものとして売れる商品を作っていただければ、それが標茶でできたっていうものであれば、全然ふるさと納税で登録できます。

参加者⑤：

そう、収量とかみたいなのは別になんもないですか。 何キロ以上とか。

企画財政課長：

量はあまり関係ないかなと思います。

あの実際に標茶高校を 何パック限定で野菜を売って、本当に何十パックとかそのぐらいしか用意してないんだけどっていうこと条件に出たこともありますから。

あんまり量がこれだけないと認めないとかそんな話ではないです。

ただ、えっと、どんなものができるかっていうのは、実際にですね、総務省の方に確認をして登録という手続きが必要になりますので、その登録の際いろいろお話をお聞きしながらですね、進めたいなと思ってますので、役場の中の、観光商工課の交流推進っていうのが担当になってますので、なんかそんなお話がありましたら、いつでもいいですので、観光商工課の方にお問い合わせいただければと思います。

よろしくお願いします。

副町長：

今、返礼品の開拓ってことに力入れなきゃいけないと思ってますんで。ぜひ。

参加者④：

多分ことか見直したほうが多分早いと思うんだよね。

弟子屈とかそれで効果出てるから。

参加者②：

何回かずっとこれ、あの、懇談会こんなんこうやってきてるんだけど、これ皆さんの意見ね、公表で出るのかな。

行財政改革推進室長：

私の方から、今予定として考えているのが、ホームページの方で公表させてもらおうかなというふうに思ってます。

で、また併せまして、他の方法でどんなのがあるかっていう部分では研究をしながら、可能な限りというふうに考えているんですが、今の段階でだとホームページの方では間違いなく公表できると考えて。

参加者②：

まあ、5、6回そういう風にこうやって、まあ同じような意見が多分発せられたと思うんだけど、それで、あの、明年もまたこういう懇談会、これで一年じゃ、全て復活できるわけないと思うんで、また明年もこういう懇談会を設ける予定なのかどうなのか。

町長：

あの、今報告の話はとりあえずおそらくこれ原稿に落としてもすごいボリュームになると思うんですよ。

ですから、とりあえずまずホームページに載せていただいて、場合によってはどうしても例えば印刷したものを欲しいってことであれば例えば取りに来ていただくとか、いろんな方法できるかなと思いますので、ちょっと研究させてください。

それから、来年度以降の話については、私、一応任期があるので、あまり先の話はちょっとできないんですけども、とりあえず今回やってみてですね、や

はりあの、最近町政懇談会とか地域でね、やったりとかするんですけども、最近数も少なく開催する場所も少なくなっているということもあって、やはりこういう皆さんと膝を交えてですね、こういうお話をするのもですね、非常にいいのかなと思ってますので、一定程度、時期を例えば予算の前の時期とかですね、そういう時期に集中してするとかですね、そんなこともですね、ちょっと研究したいなというふうに思ってますので、また皆さんから、町政懇談会、ここでやるから来てくれって言ったら顔出しますけど、そんなことでですね、皆さんからできれば、時期を決めてですね、全町また回った方がいいのかなと、考えてますので、また改めて方向決めましたら、お知らせしたいと思います。

参加者②:

あの、相当な前だけど、大体1年か2年、2年、町政懇談会地域でやったんだけど、やっぱりやったおかげでいろんなものが、何て言うか、地域も改善されたんだ。

だからできれば町も早いもん勝ちだし、私達も早いもん勝ちだから、やっぱりこういう意見交換はゆるくないんでないかなと思うんだけど。

それであの、5カ所、6カ所で合計何名、今日が最後だからさ、人数的に標茶町で何名ぐらい参加されたんですか。

企画財政課長:

今日を入れてほしい200人ぐらいです。

参加者⑦:

まあ、こうなったからにはしょうがないんだけど、今借入金が150何億ぐらいありますよね。

で、最大増えるのは令和11年か12年、その辺でどれくらいの借金になります。200億超えるかな。170、80ぐらい。

町長:

あの、今そんなに大型事業はみどりしかやってませんので、その金額はこの中に入ってますので、急に極端に増えることはないです。

ただ、毎年借金を、例えば毎年15億くらい償還していかなきゃならないので、ある程度今の入ってくるお金と比較すると厳しいっていう状況に。だからそこを増やさないようにして乗り越えていこうと思っています。

それと、さっき言ったように、病院とかやすらぎ園とか育成牧場も赤字があるので、それも年々大きくなってきてるんですね。

実質的に。

物価高騰と合わせて人件費も上がってくることになると、まあそういったものの赤字が増えてきてますので、そこもなんとか縮小させながら、まあやっていこうと。

参加者⑦:

まあ基本的には年間予算程度に、借入金を抑えなきゃならないと思うんですが、まあそれにはちょっと長い道のりでしょうが、これをいい経験として健全の方に向かっていければ嬉しいなと思います。

町長:

はい。あの、何回か説明してる中で、要するに入ってくる金って一定程度決まってるんですね。

今の例えば一般会計の中でいうと、大体100億切る金額、96とかそのぐらいが一定程度標茶の今の現状の実力なんです。

ところが、やはりそれ以上に今まで維持管理とかいろんなものを含めて、今年の予算も約110億超えてる金額になってるんです。

去年は120億超えて超えてますので、そんなにその入ってくる収入額っていうのは、実力は変わってないんですけども、いろんなものが積み重なって、もちろんそのいろんな企業会計とかいろんなものに繰り出しをしなければならい、いろんなことがあって、そういう状況が、やらざるを得ないというか、状況が続いてるんですね。

そこを減らしていくっていうか、もともと100億切るぐらいの金額で入ってくる金で出る金も調整していくってことをしっかりやらないとダメだってことになりますね。

そこがやはり今までいろんなものがありましたので、それをやらざるを得ないっていうか、施設維持していくのに窮屈してるっていう状況が続いてる中で、一定程度の施設の見直しとか、今もちろん人件費の話もそうですけど、そういったものに目を向けていく期間なんだなということでやっていきます。

参加者④:

実際、燃料の暫定税率がなくなって、その燃料の税金っていうものがなくなった影響って。

企画財政課長:

ガソリン税だと思います。

あります。

その分減ったりしています。

あのガソリン税とかですね、そういう制度が改正されると町財政にも影響があります。ちなみに消費税も地方消費税交付金っていうのが入りますから、地方消費税が下がると当然町への収入も減ってくるという、そういう仕組みになってますので、あの、ですので、ガソリンの暫定税率下がったら個人的には嬉しいんですけど、町財政考えるとこれ厳しいなっていう両方の思いは今年していました。

町長:

あと先ほどね、あの、借金の残高どれくらいだって。

借金の公債費という話がありましたけども、今だいたい毎年ですね、15億円前後、毎年借金返済をしてってるんですね。

それでちょうど切りのいいところで、令和11年度末の借金の残高が約75億にまで下がる予定です。

参加者⑦:

157億から。

町長:

はい。

今、令和8年度で120億円、残高。

で、11年ではそこまで借金の額が減る予定で、今借金を毎年返済してくというものです。

(5) 開会あいさつ

(6) 開会 午後8時50分